

## 総評

数学と英語はやや難しく、国語はやや易しめで、全体としては標準的な難易度の出題でした。

近年の入試では、問題文や資料を読み解く力や、与えられた題材を利用して文章や式を使って説明する力が問われる問題が多く出題されるようになりました。基本事項を定着させたあとは、他県の過去の入試問題など、実戦的な問題を利用して、問題や資料を効率よく読んだり、ポイントを押さえて簡潔に説明したりする力を身につけましょう。また、数学や英語の難問に目をうばわれて、理科や社会の復習をおろそかにしないように気をつけましょう。理科や社会は、1・2年内容の出題の割合が高く、復習が得点に直結しやすい教科です。入試までの時間を効率よく使い、5教科の得点を最大にする方法を考えて下さい。

## 国語

やや易しい出題となりました。

①は、漢字の書き問題「背ける」の得点率がやや低くなりました。「そむーける」のように、小学校で習った漢字の新しい読み方を、中学校で学習することができます。このような新出音訓は、教科書で確認できるので、見直しておきましょう。また、問四の得点率もやや低かったので、助詞と助動詞の違いも復習しましょう。②は、問三の得点率が低くなりました。指示語が指す内容をとらえるときには、指示語のあと的内容からも考えなければいけない場合があります。指示語の「前」だけではなく、「あと」にも着目しましょう。③は、比較的よくできていました。④は、問三の得点率がやや低くなりました。季節に関する言葉を学習する際には、言葉だけではなく、その意味まで理解することが大切です。

## 数学

難しい出題でした。読解量や記述量が入試に合わせて増えており、時間配分が難しかったかもしれません。

①の問1(3)は根号を含む式の展開ですが、得点率が非常に低くなりました。平方根の乗法や累乗の計算について再度確認しましょう。②の問1は記述問題ですが、「四分位範囲」が中央付近に集まる約半数のデータの散らばりを表すことがわかつていれば書ける内容です。入試に向けて、知識を文章で表現する練習をしましょう。

③問3の穴埋め問題では、「数を書きなさい」という問い合わせに対し、線分の記号で答えた人が多数いました。「どんな答えを求められているか」を必ず確認しましょう。

④問2の証明は、等しいことを示したい角の大きさを、「同じ式で」表す点がポイントです。「A=B, C=B, よってA=C」という形になるように書きましょう。

## 社会

標準的な難易度の出題となりました。

①は、地理と公民が比較的よくできていました。歴史は問3(1)、問6(1)など、年代や時期に関する問題の得点率が低くなりました。年代の問題が苦手な人は、年表などを利用して歴史の流れをつかむようにしましょう。②は、問3が明治時代というせまい範囲での年代並べかえだったものもあり、得点率が非常に低くなりました。③は、A問2の得点率が低くなりました。資料の判別問題は、特徴的な項目から判断できるので、おもな国や都道府県の人口や産業、気候などを確認しておきましょう。④は、基本的な内容はよくできていました。

各分野の記述問題では、問われたことに対して答えていない答案がみられましたので、何を問われているのかをよく読んで解答するようにしましょう。

## 理科

標準的な難易度の出題となりました。

①は、どれも基本的な内容に関する出題でした。間違えたところだけではなく、迷った問題もしっかりと復習し、次は確実に得点できるようにしましょう。②は、よく見られる内容だったものもあり、全体によくできていました。問3(2)はやや難しかったようです。文章や図の内容を読み取って計算できたかがポイントでした。③は、問1が基本問題でしたが正答率が低くなりました。「O」が小文字であったり、計数がないなどの答案が目立ちました。④は、計算が必要となる2問が難しかったようです。桁数がやや多い数値を扱う必要がありましたが、確実に得点できるように演習を繰り返しましょう。⑤は、簡単ではない問題が多かったものの、しっかりと正解できていた人が一定数いたようです。

## 英語

やや難しい出題となりました。

①のリスニングは、問4の得点率が低くなりました。問4は英文が2回読まれる問題です。1回目で概要をつかみ、2回目で正確に答えられるようにしましょう。問題が難しい場合でも、問題用紙にある英文や条件に目を通すことで、何を聞き取ればよいかわかる場合があります。②問3の英問英答は、絵の内容に合わせて、誤りを含まない英文を書けるかどうかがポイントです。空欄の前後をよく見て、疑問文の形を考えましょう。③④問3は三单現の誤りによる減点が目立ちました。④の英作文では、内容を意識するあまり、スペルや時制などの文法ミスが多い答案が見られました。日頃から基本的な文法事項を見直し、短い英文であっても正確に書く練習を積み重ねていきましょう。